



平成 29 年 9 月 15 日

報道機関 各位

国立市役所市長室広報・広聴係

関連イベントも実施します 緑川東遺跡から出土した大形石棒が 国の重要文化財に指定されました

市内の緑川東遺跡から出土した大形石棒4本(附^{ついたり}として土器残欠3点も含む)が、平成29年9月15日の官報告示をもって、正式に国の重要文化財に指定されました。国立市が所有する文化財としては、初めての重要文化財指定となります。また、大形石棒の重要文化財指定を記念し、大形石棒などの展示や、そのほか関連事業も実施します。

ぜひ、貴媒体への告知および取材・掲載方、お願いいたします。

記

①「緑川東遺跡」とは

現在の青柳 1・3 丁目付近にあり、旧石器時代、縄文時代、奈良時代、平安時代、中世、近世の遺構や遺物が検出される複合遺跡です。

②「石棒」とは

土偶と並んで縄文時代の祭祀の道具として使われたとされています。



▲くにたち郷土文化館所蔵の大形石棒。



▲大形石棒が緑川東遺跡から出土したときの様子



③評価されたポイント

通常、石棒は被熱・破損している事例が大半ですが、この石棒は、ほぼ完全な形のもの4本並べて置かれた状態で出土したことから、縄文時代の石棒祭祀の具体的なあり方を考えるうえで、その学術性には極めて高い価値があると評価されました。

④「国指定重要文化財 緑川東遺跡出土 石棒展」開催(申込不要・費用無料)

1. 内容 重要文化財指定を記念し、大形石棒4本と土器残欠3点のほか、くにたち郷土文化館所蔵資料や近隣自治体の資料もあわせて展示します。また、関連事業として講演会や体験学習会も開催します。詳細は、10月5日(木)発行予定の『オアシス10・11月号』をご覧ください。

※オアシスは「くにたち文化・スポーツ振興財団」のホームページからもご覧いただけます。

HP <http://www.kuzaidan.com/oasis/>

2. 日時 10月7日(土)～12月10日(日)午前9時～午後5時
※入館は午後4時30分まで。第2・4木曜日は休館。

3. 場所 くにたち郷土文化館(国立市谷保6231)

4. 主催 くにたち文化・スポーツ振興財団

※現在、石棒展準備のため、大形石棒はご覧いただけません。10月7日(土)の石棒展開催をお待ちください。

問い合わせ

国立市教育委員会 生涯学習課社会教育・文化財担当

TEL：042-576-2111(内線323)

※④については、くにたち郷土文化館(TEL：042-576-0211)